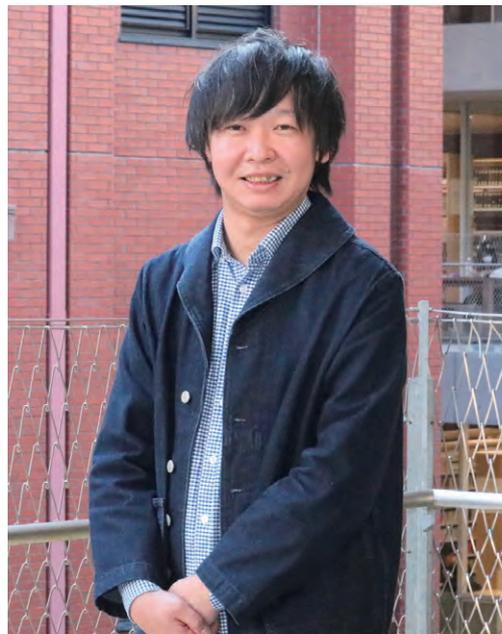


ごあいさつ

## 2024年度の ボランティア・NPO 活動センターを ふりかえって

センター長 石原 凌河



龍谷大学ボランティア・NPO活動センター（以下、センター）は、2001年度の創設以来、思いやり、責任感、主体的に行動する力のある人間を育てるとともに、各種諸団体との連携・交流を深め、学内外における様々なボランティア活動の振興を図って参りました。

紙面の関係上、2024年度の取り組みの詳細を網羅的に記載することはできないため、それぞれの当該ページをご参照いただけたらと思いますが、ここではセンターにおける2024年度の実績をごく簡単に紹介させていただきます。

当センターではボランティア活動を希望する学生への情報提供等を行うとともに、地域団体のボランティア募集の相談に応じるなど、この兩者をつなぐボランティアコーディネートの役割を担っています。2024年度も学生および外部団体への相談やコーディネートに関する業務を滞りなく実施しました。

また、本学学生を対象としたボランティアに関する講座として、「ボランティア入門講座」・「ボランティア体験Ryuボラ！」・「ボランティアリーダー養成講座」・「社会問題理解のための講座&ワークショップ」を実施し、本学学生のボランティア活動への参加促進に努めて参りました。長期休暇期間中には、国内外の地域を訪問する「体験学習プログラム」を実施しました。2024年度の国内体験学習プログラムでは、東日本震災被災地を訪問する「災害を学ぶスタディツアー」を実施しました。海外体験学習プログラムでは、外部NGOが呼び掛けるスタディツアーを組み込んだ形で「インドネシアの教育と環境を実感するスタディツアー」と「フィリピンスタディツアー」を実施しました。

令和6年能登半島地震と奥能登豪雨災害の発災を受けて、学生による被災地でのボランティア活動を計4回実施しました。2024年度から龍谷大学災害復興支援ボランティア活動に伴う交通費等助成制度を新たに設け、学生の災害ボランティア活動参

加に係る金銭的支援を行いました。内閣府の特定非営利活動法人等被災者支援活動費補助金を活用し、教職員を参加対象とした災害支援ボランティア活動も年度末に実施しました。そして、今年度の能登での復興支援活動を総括し、今後も継続的な支援を行う必要性を共有するために、復興支援フォーラム「学生だからできること～能登半島地震の支援と防災・減災～」を開催しました。

この他にも、教員・職員とともにセンターを運営する学生スタッフを育成するために、オリエンテーション研修・夏合宿・春研修を実施しました。学生スタッフが主体的にセンターの環境を整えることや、コーディネートのスキルアップなどを目的とした班活動の支援も行ってきました。2025年度からの社会学部深草キャンパス移転等を見据え、2025年度以降の学生スタッフの活動方針の見直しを行いました。「深草ふれあいプラザ2024」・「大津祭」など学内外のボランティア企画への協力も積極的に行なって参りました。

センターでは「ボランティア・NPO活動センター将来計画」を今年度新たに策定し、「ボランティア・NPO活動を通じた市民社会の担い手となる人材育成」「地域や国際社会に貢献する」「教育研究に寄与する」目的を果たすため、あらためて使命を明確化し、「地域等連携機能」「災害支援機能」「エンパワメント機能」という3つの機能を柱に掲げて更なる強化をはかっていくことを打ち出しました。将来計画で掲げている機能を強化するとともに、龍谷大学基本構想400の将来ビジョンとして掲げられている「まごころ～Magokoro～ある市民を育む」をリードできる組織となるように更なる魅力ある事業を展開して参ります。そして、龍谷大学にボランティアをお願いしてよかったと多くの方々から信頼されるようなセンターであり続けたいと考えています。

皆様からの変わらぬご支援のほど何卒よろしく申し上げます。